**障害学会　第22回大会　総会資料**

**日時：2025年9月21日12：40～13：40**

**場所：女子栄養大学坂戸キャンパス　6号館4階6402教室**

**議長：長谷川唯さん**

**１．審議事項**

**第1号議案　2024年度事業報告および会計報告**

**第2号議案　2025年度事業計画案および予算案**

**第3号義案　第12期理事について**

**第4号議案　会則の改正について**

**２．報告事項**

**（1）2025年度第2２回大会について**

**（2）****編集委員会：『障害学研究』について**

**（3）国際委員会**

**（4）広報委員会**

**（5）研究企画委員会**

**（6)アクセシビリティ委員会**

**（7）2026年度第23回大会について**

**1．審議事項**

**第１号議案　2024年度事業報告および会計報告**

【１】事業報告

１.事業報告

・理事会：

2024年４月27日（土）第49回理事会　Zoom

2024年７月27日（土）第50回理事会　Zoom

2024年９月７日（土）第51回理事会　Zoom

2025年１月11日（土）第52回理事会　Zoom

・学会大会：第21回大会　2024年9月14日（土）15日（日）　大会長・堀田理事

・研究企画委員会：第21回大会におけるシンポジウムの企画・運営

・編集委員会：『障害学研究』第21号の編集・発行、22号の編集

・国際委員会：障害学国際セミナーへの参加等、障害学会の研究・活動の国際化推進事業

・広報委員会：会員一斉メールによる情報提供、HP更新等、学会活動の活性化事業

・アクセシビリティ委員会：大会における情報保障の他、アクセスビリティ向上のための事業

・倫理規程策定WG：倫理綱領の策定

・ニュースレター発行：2024年5月　会費納入依頼およびニュースレターをメール配信

２.決算報告

①障害学会 2024年度 収支計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

　　　　　　（単位：円）

　　　科目 　　　　　 　予算 　　　　　　決算 　合計

Ⅰ　収入の部

　　会費収入　 　　　2,656,000 　 3,310,863

　　第21回大会　収益 438,751

当期収入合計 　　　　 　　　　　　　3,749,614

Ⅱ　支出の部

　　　事務局（ガリレオ）委託費 1,000,000 　1,055,505

　　　通信費 　　　　　　　　　 　11,440

　　　理事会費用 　10,000 0

　　　第21回大会情報保障費 　500,000 805,036

　　　編集委員会費　　 　10,000 　　 0

　　　研究企画委員会費 　100,000 0

　　　学会誌発行制作費

第21号：印刷・発送費 1,150,000 1,379,724

第21号：制作費 　　　　　150,000 170,000

　　　過年度分発送費 　　　　　10,000 29,920

　　　国際委員会費 　200,000 204,576

　　　広報委員会費 　　　　　10,000 0

　　　アクセシビリティ委員会費　　10,000 0

　　　20周年出版事業費 　478,004 478,004

　　　その他　雑費 　20,000 4,290

当期支出合計　　　　　　　 　　　　　　4,138,495

　　　当期収支差額　　　　　　　　 　　－388,881

　　　前期繰越収支差額　　　　　 　　4,828,713

次期繰越収支差額　　 　　　　　　　　　　　　　　4,439,832

・2024年度（2024年4月１日現在）

一般会員 440

割引会員 132

合計　　 572

・2025年度（2025年4月1日現在）

一般会員 447

割引会員 131

合計 　　　　578

②大会決算報告

科目 決算 　　合計

Ⅰ　収入の部

第21回大会　収入

　　　　5000円×129名 　645,000

2500円×52名 　130,000

収入合計 　　　775,000

Ⅱ　支出の部

会場費 　　　　　　　　　　68,800

参加登録システム利用料等（ガリレオ）66,000

アルバイト謝金 　　130,318

シンポジウム文字起こし 18,975

雑費 　　　　52,156

支出合計 　　 　　　　336,249

収支差額 　　　　438,751

以上の会計報告に誤りのないことを確認しました。

2025年8月22日 会計監査 増田洋介 與那嶺司

【２】2025年度事業計画および予算案　（廣野・深田）

１.事業計画

・理事会：2025年４月２6日（土）第53回理事会　Zoom

　　　　　2025年８月２日第54回理事会　Zoom　【理事選挙結果】

2025年９月（予定）第55回理事会　Zoom　　【進級理事引継ぎ】

2026年１月（予定）第56回理事会　Zoom

・学会大会：第22回大会　2025年9月20日（土）21日（日）　大会長・深田事務局次長

・研究企画委員会：第22回大会におけるシンポジウムの企画・運営

・編集委員会：『障害学研究』第22号の編集・発行、23号の編集

・国際委員会：障害学国際セミナーへの参加等、障害学会の研究・活動の国際化推進事業

・広報委員会：会員一斉メールによる情報提供、HP更新等、学会活動の活性化事業

・アクセシビリティ委員会：大会における情報保障の他、アクセシビリティ向上のための事業

**※表のサイズの関係で次のページに進んでください。**

**2.2025（令和7）年度・障害学会予算案**

**【収入】**

**種別　　　　　　　　　 　　予算額 　　　　　　　　備考**

**学会費 　　　　　　　　　　3085200**

**［一般］（440名×7000円×納付率87%）＋［割引］（130名×4000円×納入率78％）**

**第22回女子栄養大大会収益　　550,000**

**繰越金の組み入れ　　　　　　149,800**

**計 　　　　　　　　　　3,785,000**

**次期繰越金　　　　　　　　　4,290,032　前期繰越金4,439,832－組み入れ149,800**

**計　　 　　　　　　　　　　8,075,032**

**【支出】**

**種別 　　　　　　　　　　　　予算額 　　　　備考**

**事務局 　　　　　　　　　　　　1,150,000　　　　　選挙費用を見込んだ金額**

**理事会 　　　　　　　　　　　　10,000**

**研究企画委員会 　　　　　　　　100,000**

**編集委員会 　　　　　　　　20,000　　　　　　クラウド費用を見込んだ金額**

**国際委員会 　　　　　　　　200,000**

**広報委員会 　　　　　　　　10,000**

**アクセシビリティ委員会 　　　　10,000**

**第22回大会情報保障費 　　　　800,000**

**学会誌（22号） 　　　　　　　　1,200,000**

**学会誌（22号）制作費 230,000　　　　　　外部査読者への謝金等含む**

**過年度年会費支払会員向け学会誌送付代 20,000**

**その他　雑費 　　　　　　　　5,000**

**計 　　　　　　　　　　　　3,785,000**

**当期収支差額 　　　　　　　　0**

**次期繰越金　　　　　　　　 4,290,032**

**計 　　　　　　　　　　　　8,075,032**

第３号議案　第１２期障害学会理事会の構成について

会長　熊谷晋一郎

事務局長　伊東香純

事務局次長　廣野俊輔

編集委員会

石島健太郎

矢吹康夫（第23回大会大会長）

土屋葉

研究企画委員会

堀田義太郎

松波めぐみ

油田優衣

国際委員会

長瀬修

ミトー・アンヌ=リーズ

アクセシビリティ委員会

高森明

川島聡

西倉実季

広報委員会

廣野俊輔

鈴木良

第４号議案　会則の改正について

障害学会倫理規程策定WG（川島聡、廣野俊輔、深田耕一郎）

　障害学会は、障害学に関する研究・教育活動・学会運営等における人権の尊重、差別・ハラスメント行為等の禁止を目的として「障害学会倫理綱領」を作成し、2024年9月15日開催の年次総会において承認した。

なお、上記2024年度総会において修正意見のあった、「綱領」前文中の「人権を最大限尊重」の「最大限」は削除し、第5条「障害の有無」を先頭に配置するよう修正を行ったうえで、学会HPに公表している。

https://jsds-org.sakura.ne.jp/category/ethics/

　2025年度総会では、差別・ハラスメント等の「禁止行為」の防止を目的として、障害学会会則の改正を提案したい。具体的には、「綱領」がより実効力のあるものとなるように、「合理的配慮に関するガイドライン」および「綱領」の遵守を明文化する。

https://jsds-org.sakura.ne.jp/category/constitution/

障害学会会則

第2章　会員

（会員の権利ならびに義務）

・【新設】第8条　会員は「合理的配慮等に関するガイドライン1.0」および「障害学会倫理綱領」を遵守する。

・第8条の追加に伴い、以下の条項の番号を繰り下げる。

以上の会則改正に加えて、入会、論文投稿、大会報告申込のさいに「会則に従い、『合理的配慮等に関するガイドライン1.0』『倫理綱領』を遵守します」というチェック欄を設け、禁止行為の防止に努める。

２．報告事項

（１）2025年度第22回大会について

2025年9月20-21日　女子栄養大学

（２）編集委員会：『障害学研究』について

★2024年度報告

　１）『障害学研究』第21号を編集・発行をした。

　２）『障害学研究』第22号の編集作業を行った。

★2025年度事業計画

1）第22号について

　2025年9月の刊行を目指して、現在、編集作業を進めている。

2）第23号について

　23号の投稿論文は2025年9月30日、エッセイは2026年3月15日をそれぞれ締切と

する予定。詳細については、2025年6月頃に学会HPにてアナウンスしている。

（委員長：矢吹康夫）

（３）国際委員会

★2024年度活動報告

1．国際委員会から会員への情報発信

　障害学に関する国際的な情報を、引き続き国際委員会として会員に発信した。

2．「障害学の風」エッセイコーナー

　広報委員会の協力のもと、「樋口恵子さんと日本の障害福祉の国際化」（田中恵美子）を2024年9月15日に学会サイトに掲載した。

3．障害学国際セミナー2024の協力・参加

　台湾障害学会が主催し、2024年10月25日・26日に台北にて開催された「障害学国際セミナー2024」に、学会として協力・参加した。全体テーマは「障害者権利条約以後・障害者権利条約を越えて」であった。

　本学会からは、川島聡理事を口頭報告者として派遣し、「障害のモデルからみた障害者権利条約」について報告を行った。また、会員にポスター発表および参加を呼びかけたところ、9名が参加し、それぞれポスター報告を行った。初めてシンガポールからの参加があったことは特筆される。

4．『障害学研究』における国際ブックガイドの掲載

　『障害学研究』第21号において、編集委員会との協力のもと、国際委員会が担当する形で次の2本の国際ブックガイドを掲載した。

　・王育瑜著『身心障礙者人權議題――自主、倡議與社會工作使命』（執筆：高雅郁）

　・Wanhong Zhang, Elisabeth Perioli Bjørnstøl, Peng Ding, Wei Gao, Hanxu Liu, Yijun Liu編『Disability, Sexuality, and Gender in Asia - Intersectionality, Human Rights, and the Law』（執筆：田中恵美子）

5．研究会「心と法律：慈悲から人権へ」の開催

　2025年3月14日、国際委員であるアンヌ＝リーズ・ミトー（パリ・シテ大学）を講師として招聘し、東京大学本郷キャンパス教育学部にて、障害学会および東京大学バリアフリー教育開発研究センターの共催による研究会「心と法律：慈悲から人権へ」を開催した。

★2025年度計画

1．国際委員会エッセイコーナー（障害学の風）

　国際委員による国際的テーマのエッセイを学会サイトに掲載予定である。

2．障害学に関する国際情報の会員向け一斉配信

　障害学に関連する国際的情報の配信を継続的に行う。

3．障害学国際セミナー2025の共催

　「私たち抜きに私たちのことを決めないで――声、参加、コミュニティ形成（Nothing about us without us: voice, participation and community building）」を全体テーマとし、立命館大学生存学研究所をホストとして、2025年10月25日（土）・26日（日）に立命館大学大阪いばらきキャンパスにて開催予定である。会議は韓国語、中国語、日本語の3か国語で行われ、通訳が提供される。詳細は、障害学国際セミナー2025の概要ページにて随時公表する。学会員として山下幸子会員が口頭報告を行うほか、6本（11名・非学会員を含む）のポスター報告が予定されており、8名の参加（報告なし）が予定されている。

4．『障害学研究』における国際ブックガイドの継続

　前年度に引き続き、『障害学研究』誌において国際委員会が執筆・編集を担当する国際ブックガイドを掲載する。

5．その他、学会の国際的連携の推進

　国際的研究者との交流、共同研究、情報交換等を通じて、学会の国際的なネットワークの拡充と障害学の国際的発展に資する活動を推進する。

（委員長：長瀬修）

（４）広報委員会

★2024年度報告・2025年度計画

①一斉配信メールの管理と②障害学会サイトの管理の引き継ぎを受けたのちに、運用の枠組みや運用ルールの整理を踏まえて委員会内での業務担当の分担を決めてこれらの実務を行ってきた。①については、依頼内容や依頼方法のルールを「学会からの一斉配信メールについて」としてまとめ、学会員や理事・各委員会に業績公開の媒体としての活用を含めた一斉配信メール配信の活用を呼び掛けてきた。

②については、サイトの更新業務開始に先立ち、まずサイト全体のセキュリティの向上と作業の標準化に向けて、サイトのhttps化、WordPressのバージョンアップ、プラグインの更新を含むシステムのメインテナンス等を行った。そののちに、大会情報のアーカイブ化のために今後の大会ＨＰは基本的に学会サイト内に作成することを前提とした作成・更新上のルールを整理し、現在はそれに則った運用を行っている。2025年度もこれらの活動を続ける計画である。

（委員長：廣野俊輔）

（５）研究企画委員会

★2024年度報告

研究企画委員会企画シンポジウム　2024年9月15日（日）14時15分～18時00分

＠東京理科大学

「障害や疾患の当事者が主導する研究活動の意義や課題：参加型自閉症研究とニューロダイバーシティ運動」

★2025年度計画

2025年9月21日（日）15：00～17：30＠女子栄養大学　坂戸キャンパス

シンポジウム②　「医学研究における当事者参画」（本日）

（６）アクセシビリティ委員会

★2024年度報告

　第21回大会（東京理科大学）における情報保障のコーディネートを担当した。

★2025年度計画

　第22回大会（女子栄養大学）大会での情報保障に関して大会校に協力する。

（委員長：川島聡）

（７）2026年度第23回大会について

中京大学（時期未定）